

第11回社会言語科学学会大会プログラム

Program of the 11th Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

期日：2003年3月8日（土）・9日（日）

場所：立教大学 池袋キャンパス

第1日目 3月8日（土）

9:30	受付開始
10:00	開会
10:00 10:45	基調講演1 【会場＝8号館8202教室】 知の共創と言語コンテンツ 橋田 浩一（産業技術総合研究所）
10:45 12:15	研究発表 研究発表1：【A会場＝8号館8201教室】 司会：片岡 邦好（愛知大学） 研究発表2：【B会場＝8号館8202教室】 司会：日比谷 潤子（国際基督教大学）
12:15 13:15	理事会 【会場＝12号館第3会議室】
13:15 14:45	講演【会場＝8号館8101教室】 【演題】文化心理学と進化心理学は共存しうるか？ 波多野 誼余夫（放送大学）
15:00 18:00	ポスターセッション (SLUD研究会と合同開催)：【会場＝8号館2階・3階ロビー】
18:00 20:00	懇親会 【会場＝第一食堂】

研究発表 (口頭)

第1日目 3月8日(土)

	研究発表1 【8号館 8201 教室】 司会：片岡 邦好 (愛知大学)	研究発表2 【8号館 8202 教室】 司会：日比谷 潤子 (国際基督教大学)
10:45 11:10	日本語における「前」と「後」の認知と表現 大館 実子(国際基督教大学)・松中 義大(東京工芸大学)・篠原 和子(東京農工大学)	滞日韓国人年少者における交友ネットワーク 朴 良順(東京都立大学)
11:15 11:40	Cognitive Account for Tense-Verb Disagreement in Japanese and English: (Misleading) Use of the Past Tense Form for the Present State 香西 壮一・乗船 夫佐(関西外国語大学)	シンガポールにおける日本語教室での異文化コミュニケーション Intercultural Communication in the Japanese Language Classrooms in Singapore Lai Siew Hoon(九州大学)
11:45 12:10	日韓両語の身体語彙表現の比較研究 - 「目/眼」をめぐる - 李 明玉(学習院大学)	女性における一人称の呼称の言語行動学的研究 秋葉 聡子(日本興亜損害保険株式会社)

研究発表（ポスター）

第1日目 3月8日（土）

	ポスター発表（SLUD研究会と合同開催）：会場(8号館2階・3階ロビー) 15:00--18:00
P01:	英語呼称詞の会話における役割 —呼称頻度に関する一考察— 山崎 優子(下関市立大学)
P02:	呼称の研究 荒川 歩(同志社大学)
P03:	接触場面における話段の形成過程について 西條 美紀(東京工業大学)
P04:	討論における再構築発話の役割 乾 裕子(通信総合研究所/神戸大学/計量計画研究所)・高梨 克也(通信総合研究所)・ 矢嶋 宏光(計量計画研究所)・井佐原 均(通信総合研究所/神戸大学)
P05:	チャット対話における関連発言同定のための表層情報の分析 小倉 加奈代・石崎 雅人(北陸先端大学)
P06:	日本語ディスコースにおける謝罪の機能 —依頼の前置きとしての謝罪に関して 北 綾子(日本女子大学)
P07:	女子短期大学生の敬語使用における意識と傾向 永正 理恵子(鹿児島純心女子短期大学)
P08:	語用論の観点から見た文末表現の使用 —「ケド」を例にして— 許 夏玲(東京学芸大学)
P09:	効率性から見た発話交換構造間の関係性 金城 由美子(ATR音声言語コミュニケーション研究所)・森本 郁代(通信総合研究所)

研究発表 (ポスター)

第1日目 3月8日 (土)

	ポスター発表 (SLUD研究会と合同開催): 会場(8号館2階・3階ロビー) 15:00--18:00
P10:	会話の聞き手はいつ話し始めるか 榎本 美香(千葉大学)
P11:	受け手になること、次話者になること —話者交代規則再考— 伝 康晴(千葉大学)
P12:	ドラマにおける子どもの日本語の不自然さ 秦野 悦子(白百合女子大学)
P13:	日本語の談話ストラテジーの性差習得について —大人と子どもの相互作用を通して— 仲田 陽子(関西大学)
P14:	スペイン語を母語とする児童の発話に用いられる日本語名詞の数の一致 久津木 文(神戸大学)
P15:	意味解釈と語彙情報 —日本語名詞句「AのB」を例に 菊池 隆典・白井 英俊(中京大学)
P16:	幼児語彙におけるアクセントの分布: 3方言の比較 白勢 彩子(日本学術振興会/名古屋大学)
P17:	『日本語話し言葉コーパス』を用いた談話構造と韻律との関係に関する一考察 小磯 花絵・米山 聖子(国立国語研究所)・横 洋一(東京都立大学/国立国語研究所)・ Janice Fon (National Taiwan Normal University)

研究発表（ポスター）

第1日目 3月8日（土）

	ポスター発表（SLUD研究会と合同開催）：会場（8号館2階・3階ロビー） 15:00--18:00
P18:	XMLスキーマ言語と対話例を用いた音声対話システムの自動構築手法 重野 真也・井上 武史・荒木 雅弘(京都工芸繊維大学)
P19:	ラジオ番組収録のための音声インタフェースの設計と評価 住吉 悠希・荒木 雅弘(京都工芸繊維大学)・西本 卓也(東京大学)
P20:	対面会話におけるジェスチャーの空間参照枠と左右性 細馬 宏通(滋賀県立大学)
P21:	視野画像情報を用いた参与構造の解析 坊農 真弓(神戸大学/ATRメディア情報科学研究所)・鈴木 紀子(ATRメディア情報科学研究所)・片桐 恭弘(ATRメディア情報科学研究所/神戸大学)
P22:	看板広告にみる空間指示枠の変異について 片岡 邦好(愛知大学)
P23:	顔文字が文章の信頼度に及ぼす影響（4） 中丸 茂(イオンド大学)

第11回社会言語科学学会大会プログラム

Program of the 11th Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

期日：2003年3月8日（土）・9日（日）

場所：立教大学 池袋キャンパス

第2日目 3月9日（日）

9:30	受付開始
10:00	開会
10:00 10:45	<p>基調講演2 【会場＝8号館8202教室】 携帯電話、インターネットの普及と若者のコミュニケーション行動 橋元 良明（東京大学）</p>
10:45 12:15	<p>研究発表 研究発表3：【A会場＝8号館8201教室】 司会：南 保輔（成城大学） 研究発表4：【B会場＝8号館8202教室】 司会：彭 国躍（神奈川大学）</p>
13:15 14:45	<p>研究発表 研究発表5：【A会場＝8号館8201教室】 司会：沖 裕子（信州大学） 研究発表6：【B会場＝8号館8202教室】 司会：尾崎 喜光（国立国語研究所）</p>
15:00 18:00	<p>ワークショップ ワークショップ1 【会場＝8号館8201教室】 ・相互行為と文法：会話分析の可能性2 企画責任者： Scott Saft（筑波大学） 話題提供者： Scott Saft（筑波大学） 細田 由利（昭和女子大学） 高木 智世（慶應義塾大学） 指定討論者： Dominic Berducci（富山県立大学） 西阪 仰（明治学院大学）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>ワークショップ2 【会場＝8号館8202教室】 ・メディア化された言語 ーメディア上の言語を対象とした研究の分析アプローチの諸相 企画責任者： 三宅 和子（東洋大学） 話題提供者： 三宅 和子（東洋大学） 本田 厚子（専修大学） 竹野谷 みゆき（札幌学院大学）</p>
18:00	閉会

研究発表 (口頭)

第2日目 3月9日(日)

	研究発表3 【8号館 8201 教室】 司会:南 保輔 (成城大学)	研究発表4 【8号館 8202 教室】 司会:彭 国躍 (神奈川大学)
10:45 11:10	「形式ほめ」の条件とその印象 大野 敬代(早稲田大学)	韓国における接客言語行動の一端 —デパートと市場の比較— 金 美貞(大阪大学)
11:15 11:40	ポライトネスストラテジーが日本人英語学習者に与える影響と効果について 村田 和代(龍谷大学)・大谷 麻美(専修大学)	自己の態度に反した説得場面における言語的・非言語的行動の研究 磯 友輝子・大坊 郁夫(大阪大学)
11:45 12:10	日本人と韓国人の敬意表現の対照分析 松村 瑞子・李 奈娟・金 宥暻(九州大学)	保育者と子どもの「問いかけ-返答」の様式と子どもの社会化について 若松 美記子(一橋大学)
	研究発表5 【8号館 8201 教室】 司会:沖 裕子 (信州大学)	研究発表6 【8号館 8202 教室】 司会:尾崎 喜光 (国立国語研究所)
13:15 13:40	幼児の特殊拍の意識と表記習得に関する研究 —シラビーム方言とモーラ方言の比較を中心に— 嵐 洋子(大阪大学)	心的距離の変化によるスタイル・シフト —依頼行動の韓日対照— 李 吉鎔(大阪大学)
13:45 14:10	日本語話し言葉における子音「脱落」の実態 —『日本語話し言葉コーパス』を資料にして— 岡田 祥平(大阪大学)	謝罪行為に関する性差 —日・韓両言語の対照を中心に— 金 秀容(東京都立大学)
14:15 14:40	商標の普通名称化問題における言語学的論点 —ウォークマン事件を中心に— 首藤 佐智子(東京大学)	談話展開研究に関する方法論の日米対照研究 —談話展開の対照言語学的研究のために— 田中 香織(フェリス学院大学)